

# 進めよう

## ～ごみの新分別から半年～

# プラスチック製 容器包装の分別

4月からごみの分別方法が変わり、半年余りがたちました。市民の皆さんのご協力により、ごみの減量や再生資源の収集量の増加など、新分別の成果が表れています。しかし、適正な分別がされていないなどの課題もあります。今回は、分別の間違いが多いプラスチック製容器包装に焦点を当て、4月から稼働している「豊中伊丹スリーR・センター」(原田西町)でプラスチック製容器包装がどのように処理されているのかを紹介します。

(減量推進課)

お菓子の包装にも…



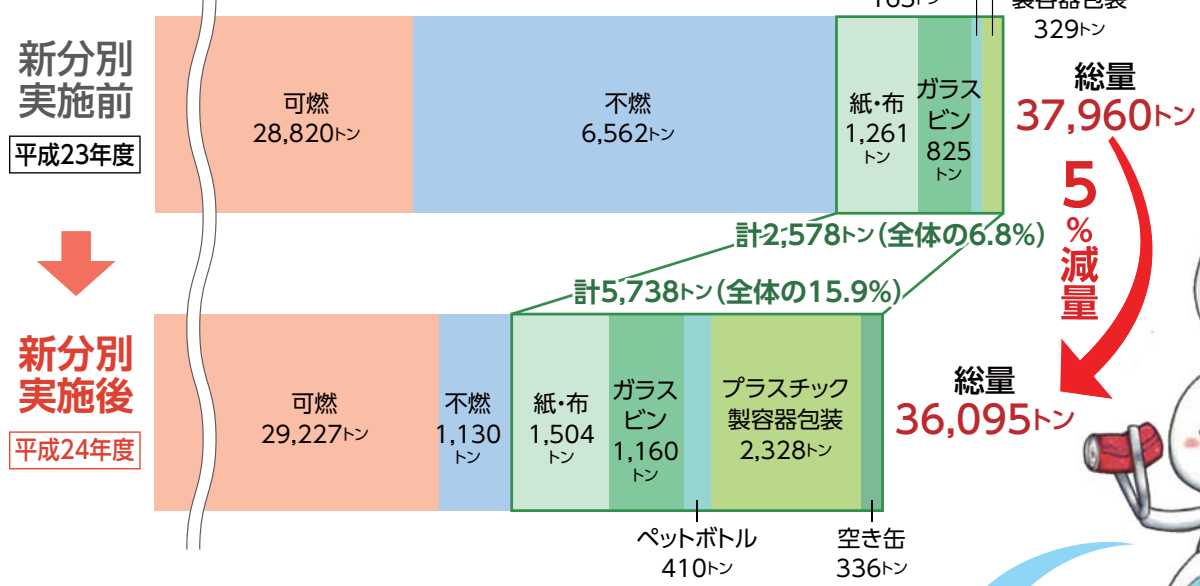
化粧品の容器にも…



シャンプーの容器にも…



■家庭から出たごみ・再生資源の収集量  
(上半期(4月～9月)比較)



今年度と昨年度の上半期を比べると、不燃ごみが大幅に減少した一方、再生資源の占める割合が増えていて、新分別の成果が表れていますね



ごみ減量 PR キャラクター  
「リサビット」  
(関連記事 8 ページ)

## 新分別で

# 再生資源の比率が大幅に増加

平成23年度まで、プラスチック製容器包装は、市内の3割に当たるモデル地区以外では不燃ごみとして収集されていました。これを少しでも多くリサイクルするために、4月から市内全域で、再生資源として収集することとなりました。

皆様のご協力により、再生資源の収集量は、今年の上半期(4月～9月)は5千738トン(全体の約15・9パーセント)と、新分別実施前の昨年の同じ時期と比べると約2.2倍に増え、内訳をみると、以前から収集していた紙・布やガラス、ビンなどの収集量も増えています。

## 異物や危険物は手作業で選別



刃物や注射器、割れたガラスなどが混じっていることがあるため、軍手の上から丈夫なゴム手袋をはめて作業します

収集を全市域で行うこととなったプラスチック製容器包装は、昨年の上半期の329トンの7倍以上に当たる2千328トンを集めました。

これらは、豊中伊丹スリーR・センターで選別された後、日本容器包装リサイクル協会が今年度指定した広島県にあるリサイクル工場へと運ばれて、建築資材や日用雑貨などに生まれ変わっています。

では、実際に収集されたプラスチック製容器包装は、どのように選別されているのでしょうか。豊中伊丹スリーR・センターでの選別作業を追ってみました。

市内から収集されてきたプラスチック製容器包装は、スリーR・センターのごみピットに集められ、まず機械で外側のごみ袋を破袋し、袋からごみを出します。その後、ごみをベルトコンベヤーに載せ、プラスチック製容器包装以外のものや汚れて再生できないものを手作業で取り除く「手選別」という作業をします。業務は「株式会社きると」(クリーン

## プラスチック製容器包装 Q&A

**Q** プラスチック製の洗面器やバケツは出していいの？

**A** 出すのは「容器包装」だけ

プラスチック製品でも、容器包装でなければリサイクルできないので、可燃ごみで出してください。「プラスチックの皿」と勘違いして、スポンジや歯ブラシなども出す人が多いようです。「容器包装の皿」と覚えてください。目印は、「ブラマーカー」(左記参照)。例えば、ペットボトルを出す場合、本体はペットボトルの皿に、キャップとラベルは、容器包装の皿に出してください。



**Q** レジ袋などをプラスチック製容器包装を出すときの小袋として使ってもいいですか？

**A** 小袋に入れて二重にするのは厳禁

収集されたプラスチック製容器包装は、手選別作業を行っており、小袋に入れて二重にすると作業の妨げになります。レジ袋などを出すときは、そのまま直接市指定ごみ袋に入れ、プラスチック製容器包装の皿に出してください。

ランド内)に委託しており、障害者30人と指導員など合計39人が従事し、平日平均7時間、手選別で異物を取り除く作業をしています。プラスチック製容器包装は、手選別作業ののち、リサイクル工場に出

荷されますが、異物が選別基準である10パーセント以上混入していると引き取ってもらえなくなります。手選別だけで異物を取り除くには限界があり、各家庭できちんと分別してごみを出すことが大切です。

# をリサイクルするために

1

プラスチック製容器包装は、同センター3階に設置された4本のベルトコンベヤーに載せられます。1本のコンベヤーの両側に5人〜7人ずつ作業員が立って目を凝らし、重なって流れてくるごみを、勢いよくかき分けて選別します。



コンベヤーは長さ8メートル。分速14メートルで動いています。約30秒で流れていってしまうので、手際よく選別します

危険物や大きなもの以外の異物はベルトコンベヤー周囲に置かれたポリバケツにいったん入れられ、同じフロアに2か所ある不適投入口から不燃ごみ機械選別ラインに落とします。



汚れのひどいものやペットボトルなどがたくさんあります



カーテンやじゅうたんなどの大きなものをはじめ、傘や鉄の塊、缶なども混じっています



この日の午前中に見つかったスプレー缶や乾電池、はさみなど。作業員がけがをする恐れのあるものもたくさんあります



この日の作業で見つかった包丁や針が見ついたままの注射器など、特に危険な異物の一部



ポリバケツの異物は、作業員が順次集めて、不適投入口に入れていきます

包丁やかみそりなどの刃物は厚紙などに包んで不燃ごみに、プラスチックの注射器本体は可燃ごみに出し、注射針は受け取った医療機関や薬局へ返してくださいね



## 選別作業の危険を減らすため皆さんの協力が必要です

注射器は1日平均70本〜80本、多量と120本も混ざっていて、針がついたままのものもあります。感染症の危険があるため、全員破傷風とB型肝炎の予防接種を受けています。毎日1、2本見つかる包丁のほか、ライター、かみそりなども多く、危険物や医療系廃棄物だけで1日にドラム缶15本分ほど回収します。作業員の安全を守るため、軍手の上に特殊な素材の丈夫な手袋を着けています。注射針や包丁など、鋭利なものは防ぎきれません。危険物をプラスチック製容器包装の日に出さないようお願いいたします。また、レジ袋に入れて二重にして出す人がいますが、中身が見えないため、危険物が入っていると作業員が手をけがすることもあるので、二重にせず、直接市指定ごみ袋に入れてください。手選別だけで異物を選別基準である10パーセント以下にするのは大変なことで、市民の皆さんの分別への協力が不可欠です。



株式会社きると  
現場担当責任者・  
宮成一明さん

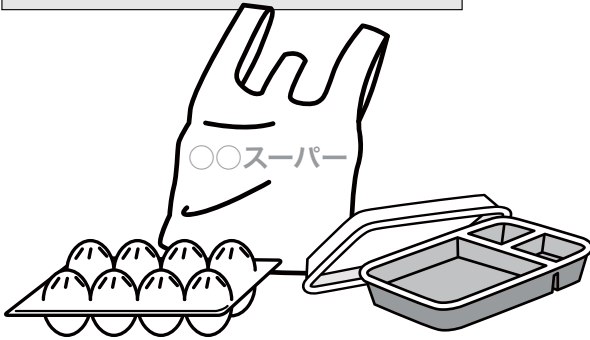
# プラスチック製容器包装

3

ベールは10トントラックに積んで、広島県にあるリサイクル工場へと搬出します。1日10トン～30トンを、トラック1台～3台で運んでいます。



リサイクル工場へ運ばれたベールは、建築資材や日用雑貨などに生まれ変わります



2

手選別を終えたプラスチック製容器包装は、コンベヤーから1階の専用ピットに自動的に落ち、「プラ容器圧縮梱包機」という機械で、「ベール」と呼ばれる大きな立方体の塊に圧縮梱包されます。

容器包装以外の異物が10パーセント以上混じっていると、リサイクルの品質が落ちるため、リサイクル工場に引き取ってもらえなくなります。また、異物が10パーセント以下であっても、注射針やかみそりなどの危険物が一つでも混じっていると、品質評価が最低ランクとなり、引き取ってもらえません。年に1回、リサイクル工場で詳細な検査が行われている他、クリーンランドでも月に1回程度内部検査をして品質を保つよう努めています。



ベールは、1つ約300キログラムの重さ

ご相談  
ください

分別で分らないことがあれば、減量推進課までお問い合わせください。  
団体からの要望に応じて担当職員が地域に出向き、分別方法などについて説明する「出前講座」も開催しています。お気軽にご相談ください。

問合せ・減量推進課 ☎ 68558・2275

## プラスチック製容器包装 Q&A

**Q** 汚れがとれないプラスチック製容器包装は、どうすればいいですか？

**A** 汚れのついたものは可燃ごみへ

軽く水洗いし、見ても分らない程度に汚れが落ちれば、プラスチック製容器包装で出してください。もし取れなければ、可燃ごみで出してください。汚れが多いとリサイクルできません。汚れたものが混じると周囲に汚れが移り、きちんと出してあった他のものまでリサイクルできなくなります。

**Q** 分別が細かくなり、ごみの指定袋が大きすぎて、なかなかいっぱいになりませんか。  
小さい袋をつくってほしいのですが…。

**A** ミニサイズの袋を販売予定

要望が多く寄せられており、検討の結果、10リットルのミニサイズの追加を決定しました。12月～来年1月中には販売できる予定です。決まり次第「広報とよなか」や市ホームページでお知らせします。